

ワクチンを接種する方へ

ワクチン接種と海外渡航に関する注意事項を、診察前によく読んでください。
読んでいただいたものとして診察し、ワクチン接種をいたします。
わからない内容については診察医に気軽にお尋ねください。

1. ワクチンを接種した後の注意事項

- ① 重大なアレルギー反応（意識が遠のく、息苦しくなる、じんましんなど）が現れることがまれにあります。接種後 20 分間は椅子にすわり、少しでも体調に異変を感じたらすぐに申し出てください。
- ② 注射した場所が、かゆくなる、痛くなる、赤くなる、腫れる、しこりができたりすることがあります。多くは3日程度でおさまりますが、痛みが強かったり動作に支障が出る場合はご連絡ください。
- ③ 発熱、頭痛、倦怠感、筋肉痛、関節痛などがあらわれることがあります。
- ④ MR（はしか・風疹）ワクチンでは、接種後5～14日目頃に、発熱やほっしんが出る場合があります。

2. その他の注意

- ① 注射した場所は、もまないようにしてください。
- ② 当日はお風呂に入っても構いませんが、注射した場所をこすらないようにしてください。
- ③ 当日は飲酒や激しい運動は避けてください。

3. ワクチンの接種スケジュール

狂犬病（国産）	計3回、初回接種から4週後（2回目）と6～12か月後（3回目）
狂犬病（輸入）	計3回、初回接種から1週後（2回目）と3週後または4週後（3回目）
日本脳炎	計3回、初回接種から1～4週後（2回目）と12か月後（3回目）
A型肝炎（国産）	計3回、初回接種から2～4週後（2回目）と6か月後（3回目）
A型肝炎（輸入）	計2回、初回接種から6～12か月後（2回目）
B型肝炎	計3回、初回接種から4週間後（2回目）と5～6ヶ月後（3回目）
破傷風	計3回、初回接種から3～8週後（2回目）と6～18か月後（3回目）
DPT（ジフテリア・百日咳・破傷風の3種混合）の追加接種	10年毎
MR（麻疹・風疹）	2回
腸チフス	1回
髄膜炎菌	1回

4. 海外滞在中の一般的な注意事項

- ① 火が十分に通っていないもの、屋台で売られているもの、氷やアイスクリーム、すでにカットされている果物等は食べないように心がけてください。水はボトルウォーターか煮沸済みのものを飲むのが安全です。
- ② 手洗いをこまめにするようにしてください。
- ③ 蚊やダニなどの虫刺されを避けるため、長袖・長ズボンを着用し、防虫剤（虫よけスプレーなど）、蚊取り線香、蚊帳を利用してください。
- ④ マラリアに対する予防薬がありますが渡航前から飲むなどいくつかの条件があります。希望される方はお知らせください。
- ⑤ 動物にはできるだけ近づかないようにして下さい。もし咬まれたりした場合は、受傷部位をせっけんで洗った後、ただちに現地の病院に行き、狂犬病と破傷風の予防接種に関する医療アドバイスを受けてください。
- ⑥ 川、池、湖などで水浴びしたり泳いだりすることは避けてください。
- ⑦ サンドルなど露出の多い履物は避けるようにして下さい。
- ⑧ 海外へ渡航する際は海外旅行保険に加入されることを強くお勧めします。

5. 感染の起こりかた

A型肝炎	口からの摂取：加熱されていない食べ物、生水、氷、果物など
B型肝炎	体液との接触：血液（輸血、針刺し、入れ墨、ピアスなど）、精液や膣粘液（性行為）
破傷風	傷口からの侵入：菌は主に土の中にいるので皮膚からの感染が一般的
狂犬病	動物に咬まれる：アジア、アフリカではイヌからが多い、北米およびヨーロッパなどではアライグマ、スカンク、キツネ、コウモリなど
日本脳炎	蚊に刺される：（コガタアカイエカ、主に夜間）
マラリア	蚊に刺される：（ハマダラカ、主に夜間）
デング熱	蚊に刺される：（ネッタイシマカ、ヒトスジシマカ、主に日中）
コレラ	口からの摂取：水、氷、食品（魚介類）
腸チフス	口からの摂取：汚染された食物や水
髄膜炎菌感染症	保菌者及び患者の咽頭からの飛沫感染：集団における感染

6. 感染症情報サイト

外務省在外公館医務官情報 <http://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/medi/index.html>

7. この資料に関するお問い合わせ

重工記念長崎病院 門田 耕一郎 Tel : 095-801-5800